

平成29年3月期 第1四半期サマリー

平成28年7月29日

株式会社 藤商事



東証JASDAQ上場

証券コード 6257

1. 平成29年3月期 第1四半期決算概要 P.2
2. パチンコ・パチスロ市場の見通し P.8
3. 平成29年3月期 通期業績計画 P.11

1. 平成29年3月期 第1四半期決算概要

決算ハイライト① 第1四半期発売機種



パチンコ遊技機（新規タイトル）



©東映

**CR 遠山の金さん 二人の遠山桜
（平成28年6月発売）**

決算ハイライト② 販売台数



(販売台数は百台未満切捨て)

販売台数	平成28年3月期 第1四半期		平成29年3月期 第1四半期		対前年同期比
	販売台数	構成比	販売台数	構成比	
パチンコ遊技機	31,900台	100.0%	22,800台	100.0%	△9,100台
パチスロ遊技機	—	—%	0台	0.0%	+0台
計	31,900台	100.0%	22,800台	100.0%	△9,100台

平成28年3月期 第1四半期	販売台数	平成29年3月期 第1四半期	販売台数
CR地獄少女 弐(ツー)	21,100台	CR遠山の金さん 二人の遠山桜	8,800台
CRクリスタル&ドラゴン	3,900台	その他	13,900台
CRリング 呪い再び	2,600台	—	—
その他	4,100台	—	—
合計	31,900台	合計	22,800台

決算ハイライト③ 損益計算書



(単位:百万円)

	平成28年3月期 第1四半期		平成29年3月期 第1四半期		構成比増減	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	10,899	100.0%	7,305	100.0%	—	◆売上高・各利益の減少 販売台数の減少
売上原価	5,903	54.2%	3,497	47.9%	△ 6.3pt	
売上総利益	4,995	45.8%	3,807	52.1%	+ 6.3pt	
販管費	3,753	34.4%	4,572	62.6%	+ 28.2pt	
営業利益	1,242	11.4%	△ 764	△ 10.5%	△ 21.9pt	
営業外収益	79	0.7%	74	1.0%	+ 0.3pt	
営業外費用	8	0.1%	8	0.1%	+ 0.0pt	
経常利益	1,313	12.0%	△ 699	△ 9.6%	△ 21.6pt	
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	+ 0.0pt	
特別損失	1	0.0%	0	0.0%	△ 0.0pt	
税引前四半期純利益	1,311	12.0%	△ 699	△ 9.6%	△ 21.6pt	
法人税等	456	4.2%	△ 182	△ 2.5%	△ 6.7pt	
四半期純利益	855	7.8%	△ 516	△ 7.1%	△ 14.9pt	

決算ハイライト④ 貸借対照表



(単位:百万円)

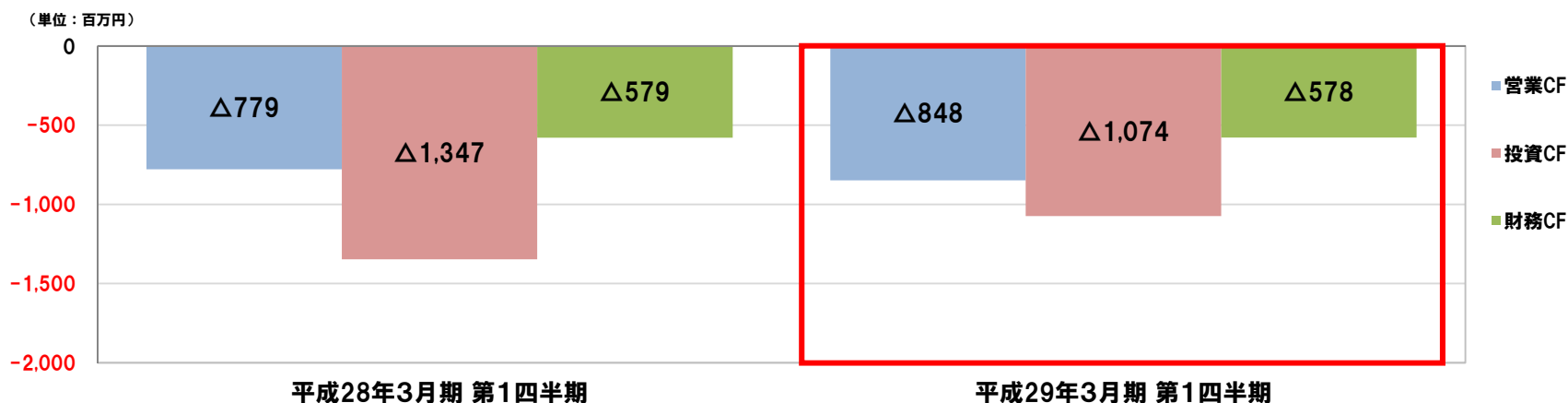
	平成28年3月期末		平成29年3月期 第1四半期末		金額増減	備 考
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	42,635	71.3%	41,660	71.2%	△974	◆流動資産 現金及び預金の減少
現金及び預金・有価証券	26,789	44.8%	24,589	42.0%	△2,200	
商品及び製品	459	0.8%	1,359	2.3%	+900	
売上債権	4,842	8.1%	5,417	9.3%	+574	
その他	10,543	17.6%	10,294	17.6%	△249	
固定資産	17,145	28.7%	16,853	28.8%	△291	前期末 当第1四半期末 現金及び預金 26,189 23,687 有価証券 600 901 計 26,789 24,589
有形固定資産	6,973	11.7%	7,113	12.2%	+140	
その他	10,172	17.0%	9,739	16.6%	△432	
資産合計	59,781	100.0%	58,514	100.0%	△1,266	前期末 当第1四半期末
流動負債	7,752	13.0%	8,013	13.7%	+261	流動比率 550% 520%
仕入債務	5,417	9.1%	6,003	10.3%	+586	当座比率 408% 374%
その他	2,334	3.9%	2,009	3.4%	△324	
固定負債	1,335	2.2%	1,388	2.4%	+52	◆純資産 利益剰余金の減少
負債合計	9,087	15.2%	9,401	16.1%	+313	
純資産合計	50,693	84.8%	49,112	83.9%	△1,580	

決算ハイライト⑤ キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期の内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 779	△ 848	増加要因: 仕入債務の増加 減価償却費	771百万円 300百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,347	△ 1,074	減少要因: 税引前四半期純損失 たな卸資産の増加 売上債権の増加	699百万円 874百万円 574百万円
フリー キャッシュ・フロー	△ 2,127	△ 1,923	減少要因: 有形固定資産の取得 投資有価証券の取得 有価証券の取得	560百万円 208百万円 202百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 579	△ 578	主要要因: 営業キャッシュ・フローと 投資キャッシュ・フローの減少	
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,707	△ 2,501	減少要因: 配当金の支払い	578百万円
現金及び現金同等物の期首残高	33,638	25,788	自己資本比率	前第1四半期 81.9% 当第1四半期 83.9%
現金及び現金同等物の期末残高	30,931	23,286	(※)ご参考 前期末	84.8%



2. パチンコ・パチスロ市場の見通し

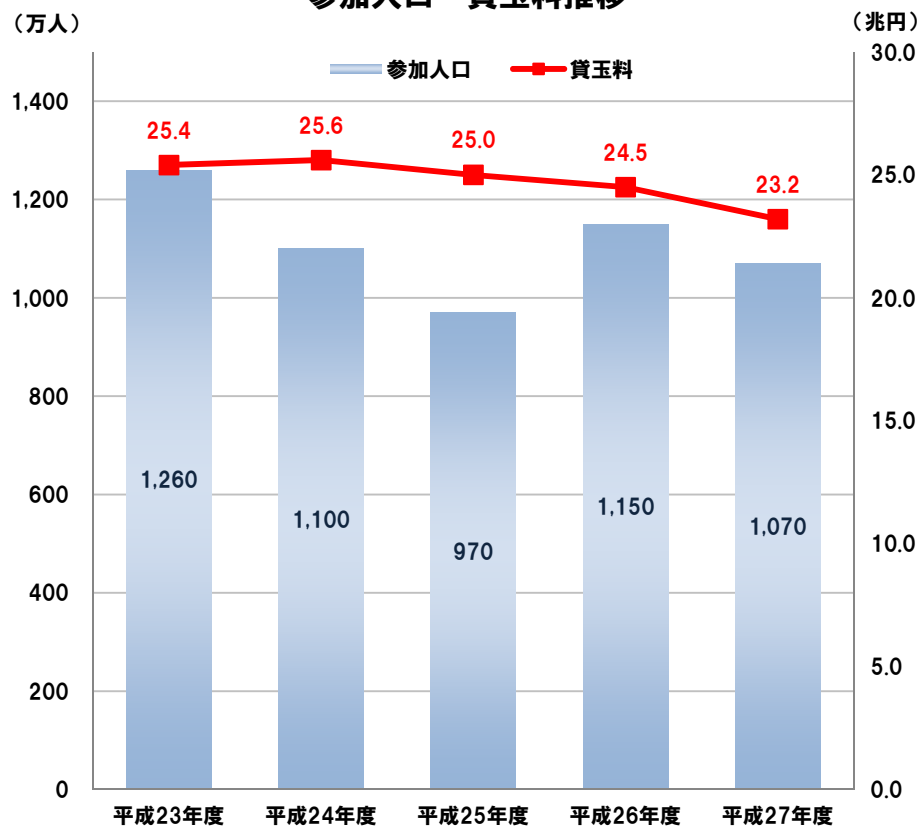
パチンコ・パチスロ市場の推移



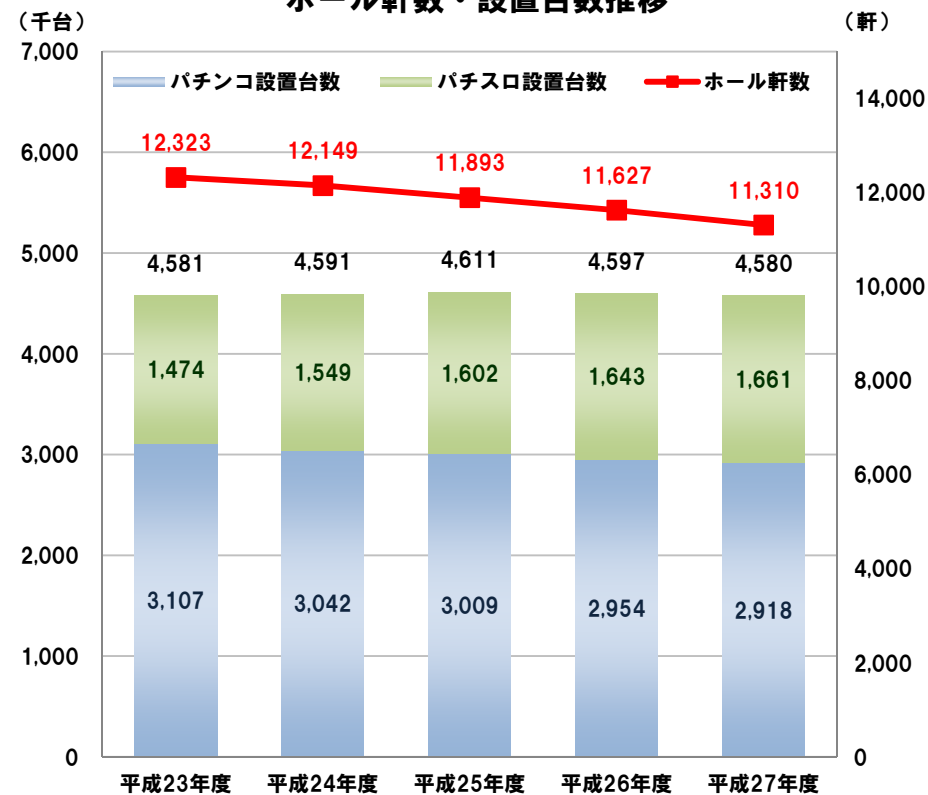
項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
参加人口 (万人)	1,260	1,100	970	1,150	1,070
賞玉料 (兆円)	25.4	25.6	25.0	24.5	23.2

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
ホール軒数(軒)	12,323	12,149	11,893	11,627	11,310	
設置台数 (千台)	パチンコ	3,107	3,042	3,009	2,954	2,906
	パチスロ	1,474	1,549	1,602	1,643	1,669

参加人口・賞玉料推移



ホール軒数・設置台数推移

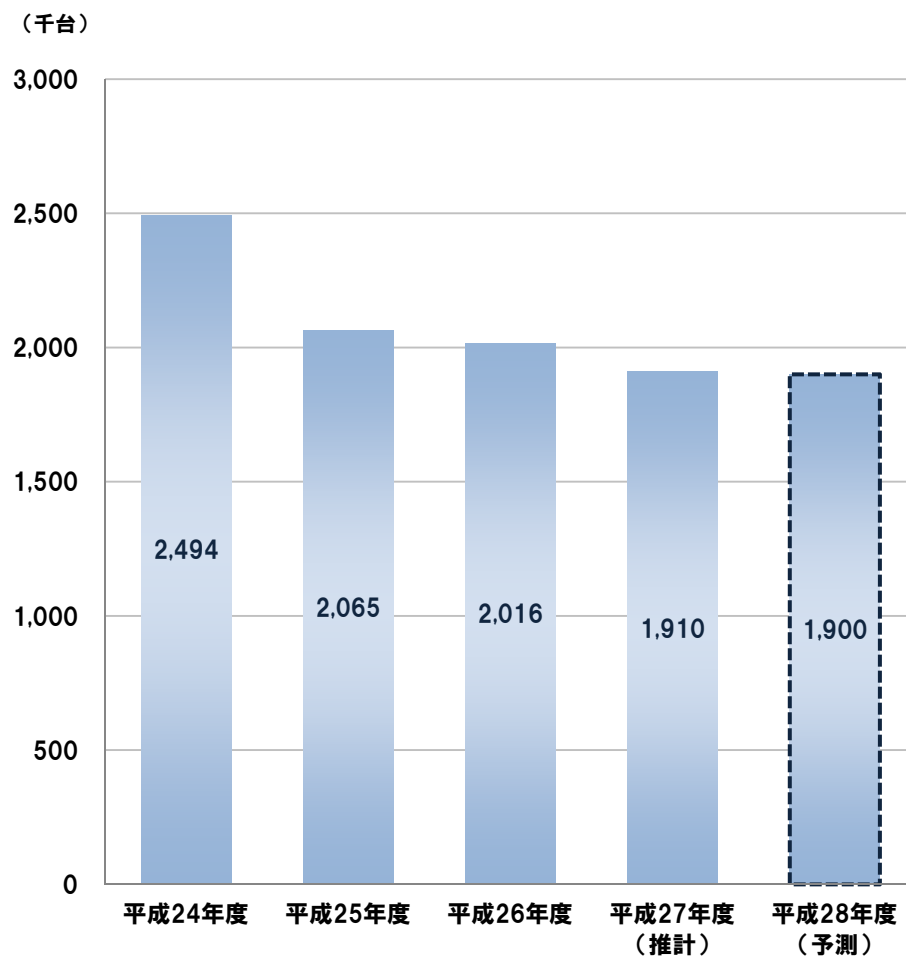


出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・日本生産性本部『レジャー白書』（参加人口・賞玉料）

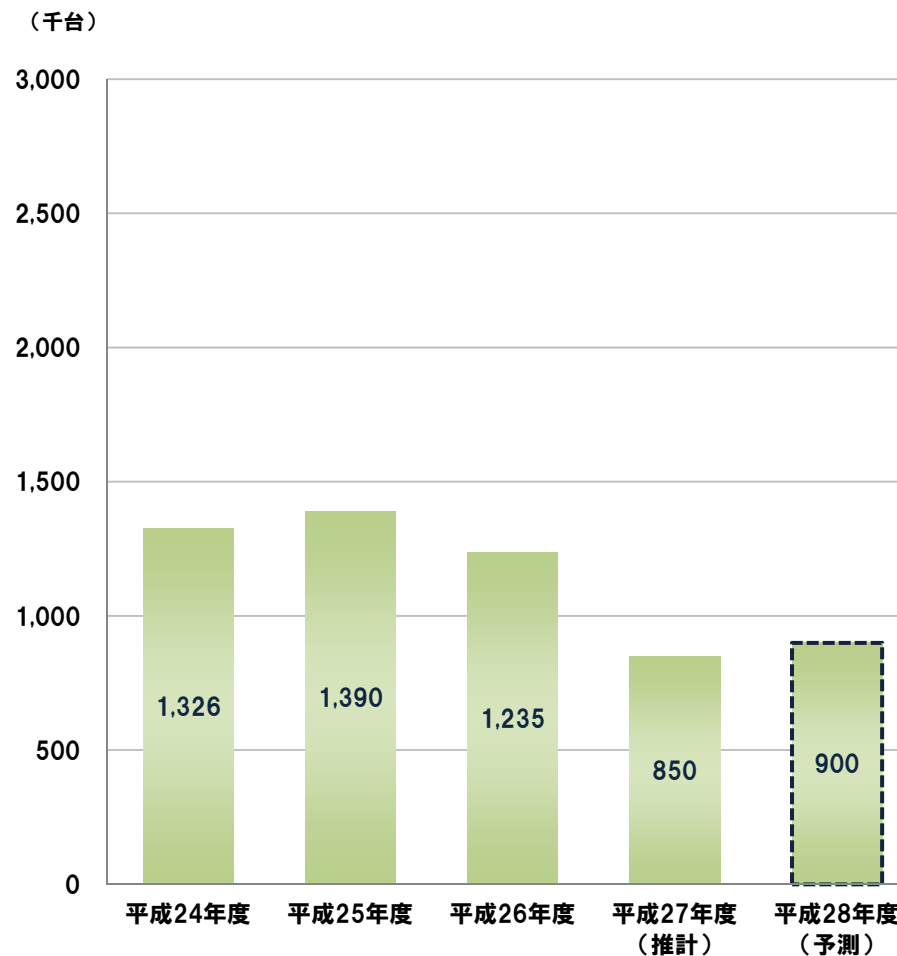
遊技機市場の販売台数推移



パチンコ遊技機の世界販売台数



パチスロ遊技機の世界販売台数



データ出所：株式会社経済研究所「2015年版 パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」より平成24年度～26年度の実績値 ※平成27年度・28年度は当社推計値・予測値

3. 平成29年3月期 通期業績計画

第2四半期以降の販売計画



■新規タイトル数

	第1四半期実績	第2四半期計画	下半期計画	通期計画
パチンコ遊技機	1機種 (遠山の金さん)	2機種 (仄暗い水の底から)	5機種	8機種
パチスロ遊技機	—	—	2機種	2機種
計	1機種	2機種	7機種	10機種

■直近リリースした機種

パチンコ遊技機 『CR仄暗い水の底から』

平成29年3月期 業績計画



■ 業績予想につきましては、平成28年5月13日発表の業績予想に変更はありません。

(単位：百万円、販売台数は百台未満切捨て)

	第1四半期		第2四半期累計期間		通期	
	実績	構成比	計画	構成比	計画	構成比
パチンコ遊技機	22,800台	100.0%	67,000台	100.0%	130,000台	86.7%
パチスロ遊技機	0台	0.0%	—	—%	20,000台	13.3%
計	22,800台	100.0%	67,000台	100.0%	150,000台	100.0%
売上高	7,305	100.0%	22,100	100.0%	50,000	100.0%
営業利益	△764	△10.5%	1,100	5.0%	5,000	10.0%
経常利益	△699	△9.6%	1,200	5.4%	5,000	10.0%
当期(四半期)純利益	△516	△7.1%	800	3.6%	3,300	6.6%
1株当たり 当期(四半期)純利益	△21.19円	—	32.79円	—	135.27円	—
1株当たり配当金	—	—	25.00円	—	50.00円	配当性向 37.0%

■ お問い合わせ先

株式会社 藤商事 経営企画本部 広報・IR 室

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174

- 本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承下さい。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。